Form No. 3412-271 Rev A

公道走行用ライトブレーキランプ付き
Groundsmaster® 3400 トラクションユニット
モデル番号02917—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

このキットは、公道走行に必要なライト類と、そのブラケットおよびスイッチのすべてを含む製品です。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	左後部用ランプブラケット 右後部用ランプブラケット ボルトM16 x 110 mm ナット M16 ヒューズ15 A	1 1 2 2 2	後部ランプを取り付けます。
3	ダウティシール1/4 インチ 圧力スイッチ用アダプタ 圧力スイッチ 圧力スイッチケーブル	1 1 1 1	圧力スイッチを取り付けます.
4	ナンバープレートブラケット 2ウェイ・タブハウジングコネクタ フラッシャリレー 標準の短いリレー	1 1 1 1	ナンバープレートブラケットを取り付けます.
5	センターマウント 右側ヘッドライト用マウント 左側ヘッドライト用マウント ボルトM6 x 20 mm ロックナット(M6) ボルトM10 x 25 mm ロックナット(M10) ワッシャ3/8 インチ 取り付けブラケット 4ウェイ・タブハウジングコネクタ	1 1 1 8 8 4 4 8 2 2	ヘッドライトを取り付けます.
6	計器パネル用コネクタのリード ハザード警告ランプ用スイッチ ライトスイッチ インジケータスイッチ ホーンボタン ホーン・デカル ケーブルタイ	1 1 1 1 1 1 24	コントロールパネルにスイッチを取り付けます.

© 2017—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the UK
禁無断転載

3412-271 A

手順	内容	数量	用途
7	リフレクタ	2	リフレクタを取り付けます.
8	シリアルラベル	1	シリアルラベルを貼り付けます.

その他の付属品

内容	数量	用途
取り付け手順書	1	キットを取り付けて使用する前によくお読みください。
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車し、カッティングユニットを降下させ、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止させてキーを抜き取る。
2. バッテリーのマイナス端子からバッテリーケーブルを外す。

⚠ 警告

バッテリーからは爆発性のガスが放出される。

バッテリーに火花や裸火を近づけてはならない。バッテリーを取り扱う時には安全めがねとゴム手袋を着用すること。禁煙を厳守すること。

2

後部ランプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	左後部用ランプブラケット
1	右後部用ランプブラケット
2	ボルトM16 x 110 mm
2	ナット M16
2	ヒューズ15 A

手順

注 シリアル番号が316999999以下の場合、後部ランプ取り付けブラケットを付属部品に含まれているものに交換する必要があります。

後部ランプはROPSの左右外側に取り付けますランプは、ROPS についている既存のボルト穴に入れます。

1. エンジンカバーを開く。
2. 運転台を上げて開く。
3. 運転席後部のバルクヘッドを固定しているボルト 4 本を取り外してバルクヘッドを外す図 1。

   注 これにより、メイン配線パネルに手が届くようになる。

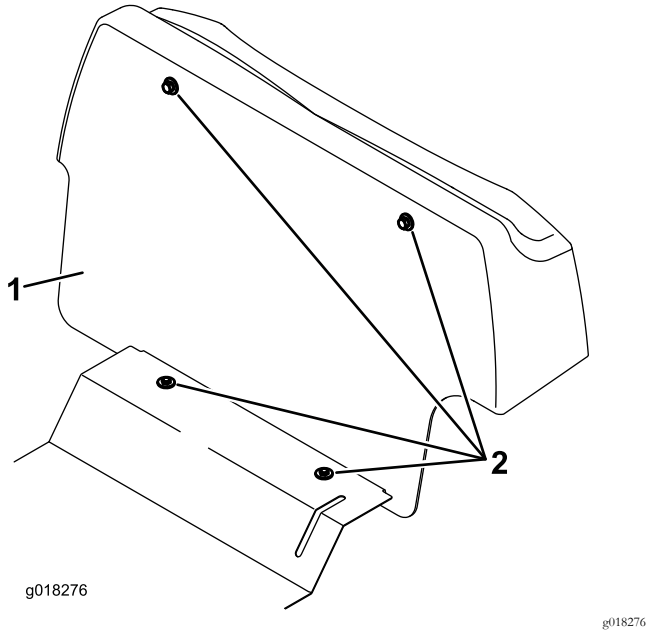


図 1

1. バルクヘッド
2. ボルト4本

4. ROPS のピボットボルトとクランプボルトが定位置で十分に締め付けられている、または固定ピンが確実に入っていることを確認する。
5. 機体左側にある ROPS ピボットボルトを外す。
6. 左後部用のランプブラケットの穴をROPSの穴に合わせて、新しいボルトM16 x 110mmを、既存のワッシャと共に取り付ける図 2または図 3。

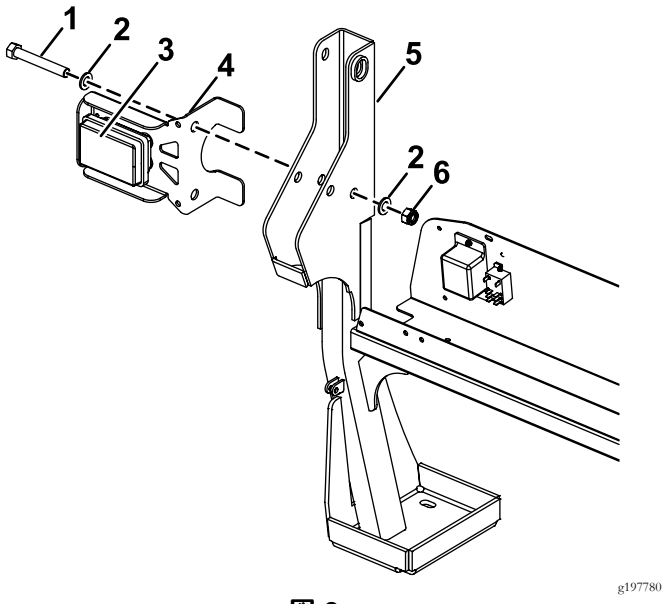


図 2
マシンのシリアル番号 316999999 以下

1. ボルトM16 x 110 mm
2. 既存のワッシャ
3. オレンジ色のインジケータ側が上を向くように
4. 左後部用ランプブラケット
5. ROPS バー
6. ナット M16

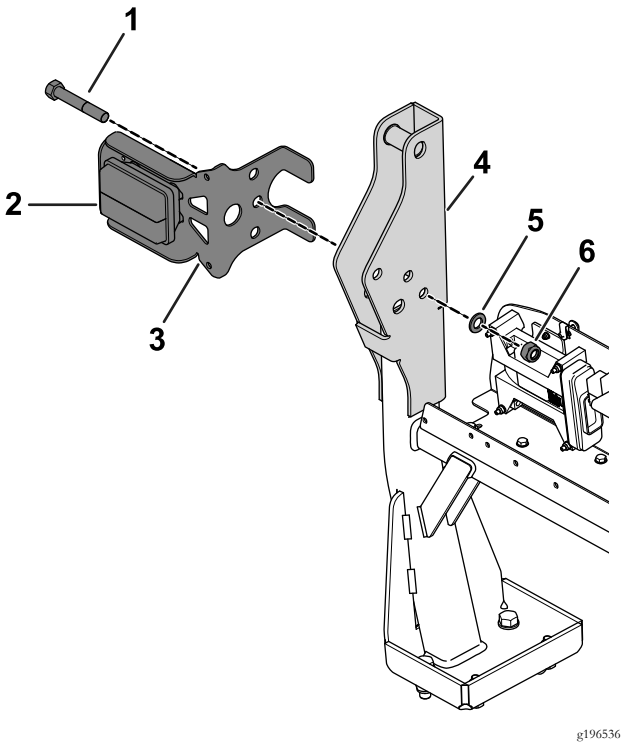


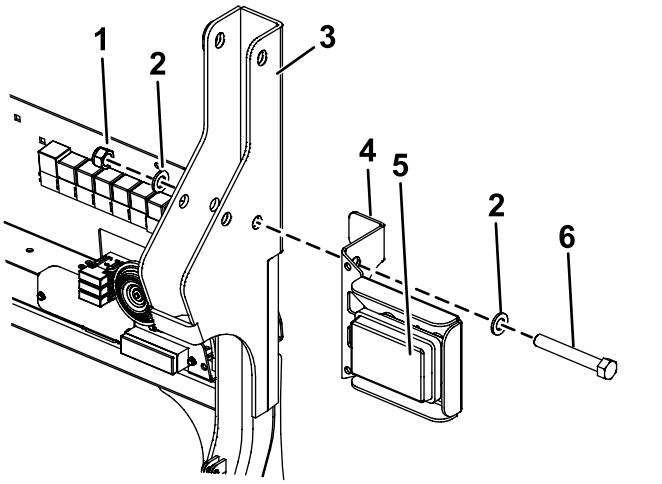
図 3
マシンのシリアル番号 400000000 ~ 999999999

1. ボルトM16 x 110 mm
2. オレンジ色のインジケータ側が上を向くように
3. 左後部用ランプブラケット
4. ROPS バー
5. 既存のワッシャ
6. ナット M16

7. 新しいナットM16をボルトに取り付け、15N·m 1.5kg.m = 11ft-lbsにトルク締めする。

   注 締め付けすぎるとROPSを倒しにくくなるので注意してください。

8. 機体右側にあるROPSピボットボルトを外す。
9. 右後部用のランプブラケットの穴をROPSの穴に合わせて、新しいボルトM16 x 110mmを、既存のワッシャと共に取り付ける図4または図5。

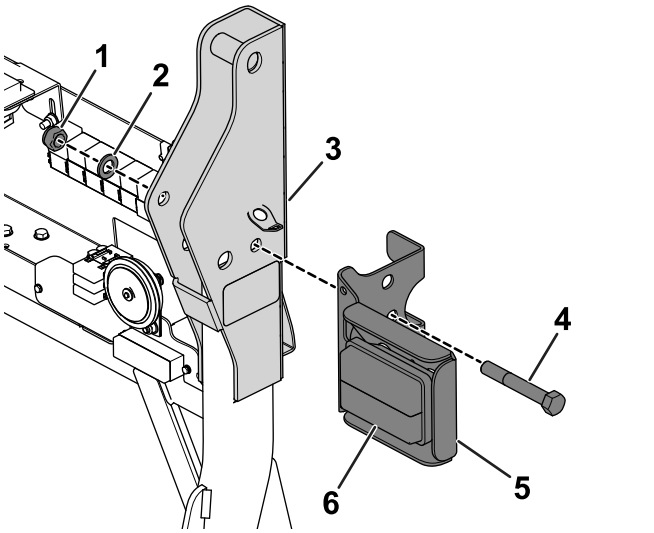


g197781

図4

マシンのシリアル番号 316999999 以下

1. ナット M16
2. 既存のワッシャ
3. ROPS バー
4. 右後部用ランプブラケット
5. オレンジ色のインジケータ側が上を向くように
6. ボルトM16 x 110 mm



g196537

図5

マシンのシリアル番号 400000000 ~ 999999999

1. ナット M16
2. 既存のワッシャ
3. ROPS バー
4. ボルトM16 x 110 mm
5. 右後部用ランプブラケット
6. オレンジ色のインジケータ側が上を向くように

10. 新しいナットM16をボルトに取り付け、15N·m 1.5kg.m = 11ft-lbsにトルク締めする。

    注 締め付けすぎるとROPSを倒しにくくなるので注意してください。

    注 もし、既に右または左側にビーコンキットが取り付けてある場合には、既存のボルトと、このキットに付属している新しいナイロックナットを使用してください。

11. 全部の電気ケーブルをROPSフレームの前にまとめて、電装パネルに載せる。
12. 各ケーブルを、車両の電気用バルクヘッド図6についているワイヤハーネスに、以下のように接続する

    A. 左後部ランプアセンブリ4ピンのコネクタを、メイン配線パネルの左側用4ピンコネクタに接続する。

    B. 右後部ランプアセンブリ4ピンのコネクタを、メイン配線パネルの右側用4ピンコネクタに接続する。

    注 左右のランプアセンブリについているコネクタ2ピンは、ナンバープレート用のランプのためのものです。2つの2ピンのコネクタのうちの1個だけを使用します。

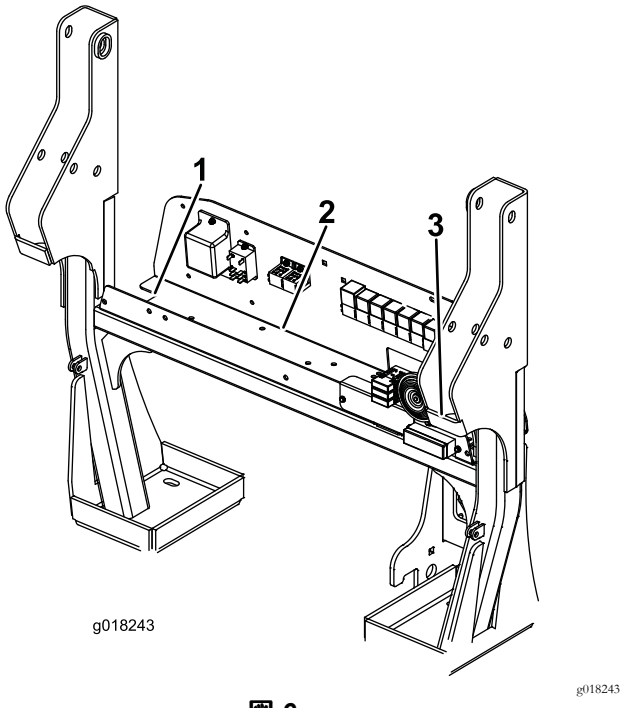


図 6

1. メインのワイヤハーネスの左後部ランプアセンブリ用4ピンコネクタ
2. メインのワイヤハーネスの電気プレッシャスイッチ用3ピンケーブルコネクタ
3. メインのワイヤハーネスの左後部ランプアセンブリ用4ピンコネクタ

13. ヒューズブロックにヒューズ15A2本を取り付ける。ヒューズブロックの左側から1番目と3番目のソケットを使用する図 7。

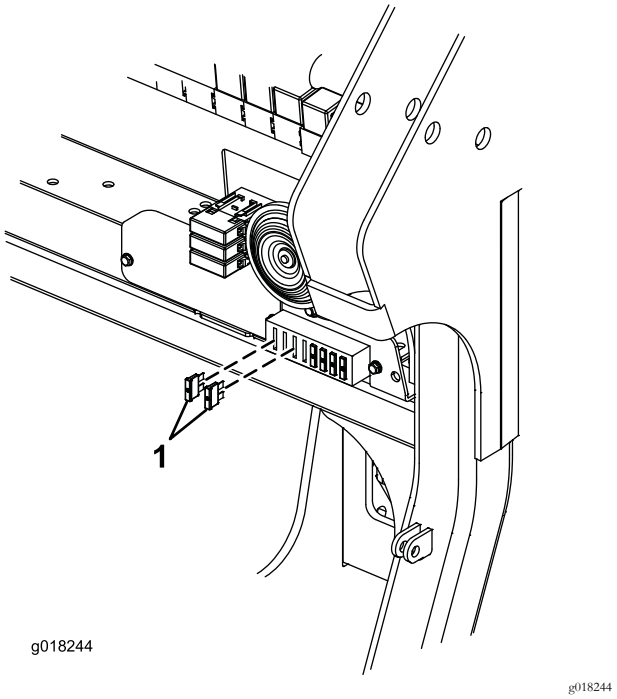


図 7

1. ヒューズ15A2本

3

圧力スイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ダウティシール1/4 インチ
1	圧力スイッチ用アダプタ
1	圧力スイッチ
1	圧力スイッチケーブル

手順

圧力スイッチはブレーキランプをコントロールするスイッチです。メインのトランスミッションラインにねじ止めします。

1. トランスミッションポンプの右側にある3つのホース接続部を探し出す。ポンプ正面の下側の接続部に、キャップのついたT字フィッティングがある。
2. このキャップをフィッティングから外す。
3. T字フィッティングに、圧力スイッチアダプタを取り付けるダウティシールを使って図 8のように取り付ける。

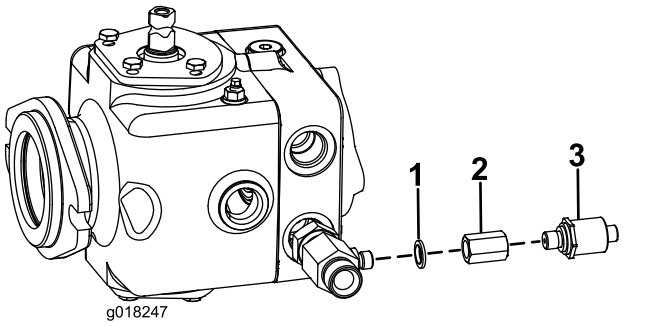
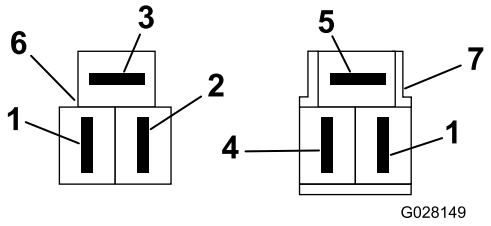


図 8

1. ダウティシール1/4 インチ
2. 圧力スイッチ用アダプタ
3. 圧力スイッチ

4. 圧力スイッチをこのアダプタに取り付ける図 8。スイッチを 34N·m (3.5kg.m = 25ft-lbにトルク締めする。
5. 電装バルクヘッドで、電気圧力スイッチケーブルのコネクタ3ピンを、メインのワイヤハーネスにある対応コネクタに接続する図 6 と 図 9。



g028149

図 9

ケーブルが入る側から見たコネクタの図

1. 緑/黄
2. 黄
3. 黒
4. 茶
5. 青
6. 圧力スイッチのコネクタメインワイヤハーネス
7. 圧力スイッチケーブルのコネクタ

6. 圧力スイッチケーブルを、電装バルクヘッドから右側のROPSに沿って下へ引き出し、シャーシのレールに沿って前方の圧力スイッチまで配線する。
7. 圧力スイッチにコネクタを接続し、コネクタを固定する。

4

ナンバープレートブラケットを取り付ける

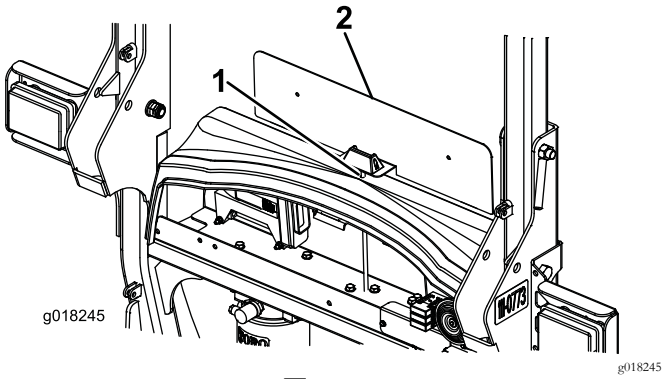
この作業に必要なパーツ

1	ナンバープレートブラケット
1	2ウェイ・タブハウジングコネクタ
1	フラッシャリレー
1	標準の短いリレー

手順

ナンバープレートランプ付きは、バルクヘッドに取り付けます。

1. プラスチック製のバルクヘッドカバーの中央部前から40mmの位置に直径8mmの穴を一つ開ける図 10。



g018245

図 10

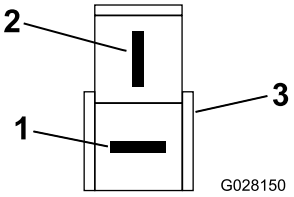
1. ここに穴8mmをあける。
2. ナンバープレートブラケット

⚠ 警告

ドリルを使うときに保護めがねなどを使用しないと金属粉が目に入る恐れがある。

ドリルなどを使う場合には、必ず保護めがねを着用すること。

2. ナンバープレート用のケーブルを、カバーにあけた穴8mmに通す。ナンバープレートブラケットとバルクヘッドを取り付ける先ほど取り外したボルトを使用する。
3. ナンバープレートケーブルの端子部に、2 ウェイタブハウジングコネクタを押し込んで接続する図 11。



g028150

図 11

1. 赤線
2. 黒線
3. 2ウェイ・タブハウジングコネクタ

4. ナンバープレート用ランプの配線を、右または左の後部ランプ用配線の 2 ピンコネクタに接続する。
5. 方向指示器リレーを左側の空のリレーソケットに接続し、標準の短いリレーを右側の空のリレーソケットに接続する図 12。

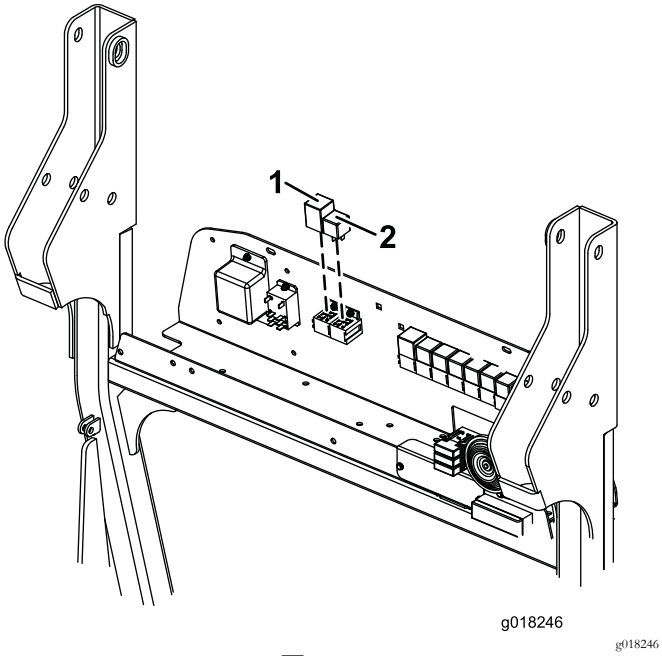


図 12

1. 方向指示器リレー
2. 標準の短いリレー

5

ヘッドライトを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	センターマウント
1	右側ヘッドライト用マウント
1	左側ヘッドライト用マウント
8	ボルトM6 x 20 mm
8	ロックナット(M6)
4	ボルトM10 x 25 mm
4	ロックナット(M10)
8	ワッシャ3/8 インチ
2	取り付けブラケット
2	4ウェイ・タブハウジングコネクタ

手順

ヘッドライトアセンブリは、センターマウントに、マウントは取り付けブラケット2個を使用してマシンに取り付けられる図 13

1. 取り付けブラケット2個を車体前部に取り付ける ボルトM10 x 25mm2本、ワッシャ3/8 インチ4枚、ロックナットM10 2個を使用して図 13のように取り付ける。
2. 左右の取り付けブラケットにセンターマウントを取り付け ボルトM10 x 25mm2本、ワッシャ3/8 インチ4枚、ロックナットM10 2個を使用して図 13のように取り付ける。
3. チューブの端部の内壁部分およびスプリング全面とチューブ端部の側面を固着防止グリスで十分に覆う図 13。
4. 右側ヘッドライト用マウントを手で保持しながら、配線ケーブルをチューブに通し、ヘッドライト取り付け用の切り込みから外へ出す図 13。
5. センターマウントに右側ヘッドライト用マウントを固定するボルトM6 x 20mm4本とロックナットM64個を使用して図 13のように固定する。

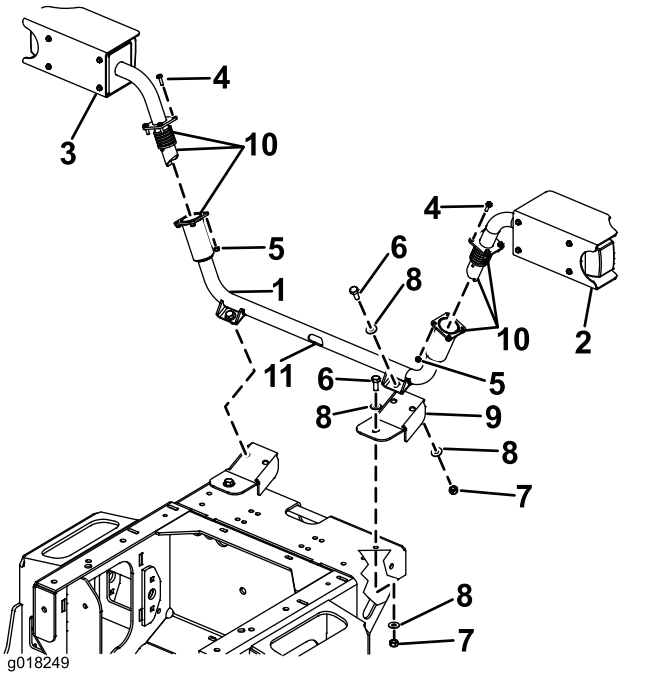
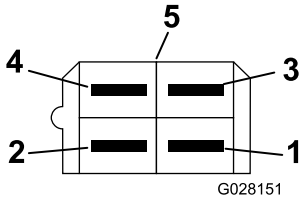


図 13

1. センターマウント
2. 右側ヘッドライト用マウント
3. 左側ヘッドライト用マウント
4. ねじM6 x 20mm
5. ナイロックナットM6
6. ねじM10 x 25mm
7. ナイロックナットM10
8. ワッシャ3/8 インチ
9. 取り付けブラケット
10. ここに固着防止グリスを塗る
11. ヘッドライト用マウントの切込み

6. 4ウェイ・タブハウジングコネクタを、配線ケーブルに取り付けるピンをコネクタの裏側に押し込む。(図 14)。このコネクタに「右側」を表す印をつけておく。マシンのメイン配線パネルへの配線作業を行うときに楽になる。



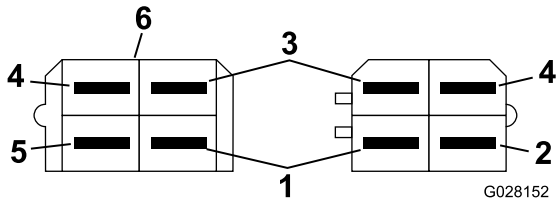
g028151

図 14

ケーブルが入る側から見たコネクタの図

1. 青
2. 緑
3. 赤/白
4. 黒
5. 4ウェイ・タブハウジングコネクタ

7. ステップ 4 6 を、ステップ 6で「左側」としたコネクタに対して行う。
8. 切り欠き部分にケーブルを通して牽引ポイントへ向かい、前シャーシの穴を通して、運転台の下にあるカッティングユニットマニホルドへ導く。
9. カッターマニホルド近くにあるメイン配線パネルの4ピンコネクタ2個を探し出す。
10. 配線パネルにあるコネクタの中の、緑/白の電線のついているコネクタを、先ほど印をつけておいた左側ランプアセンブリのコネクタに接続する 図 15。

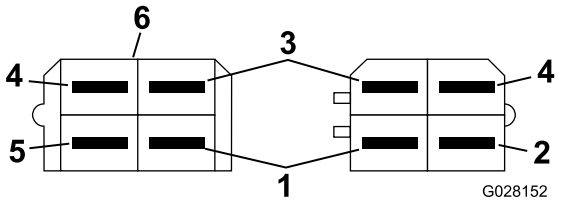


g028152

図 15

1. 青
2. 緑/白
3. 赤/白
4. 黒
5. 緑
6. 4ウェイ・タブハウジングコネクタ

11. 配線パネルにあるコネクタの中の、緑/赤の電線のついているコネクタを、先ほど印をつけておいた右側ランプアセンブリのコネクタに接続する 図 16。



g028152

図 16

1. 青
2. 緑/赤
3. 赤/白
4. 黒
5. 緑
6. 4ウェイ・タブハウジングコネクタ

6

コントロールパネルにスイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

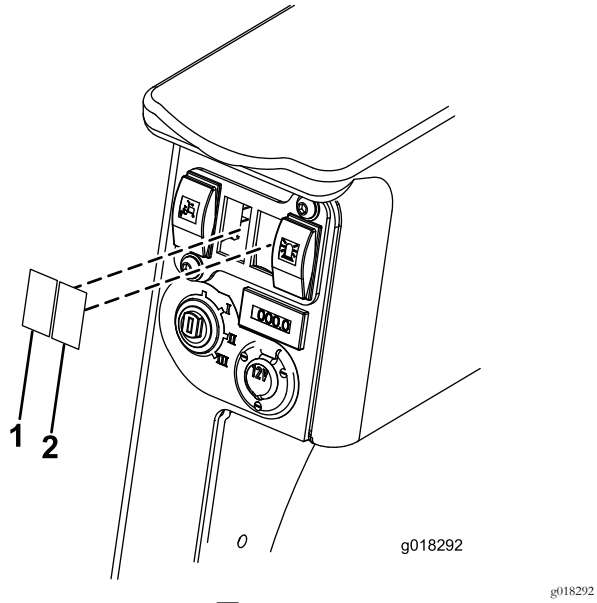
1	計器パネル用コネクタのリード
1	ハザード警告ランプ用スイッチ
1	ライトスイッチ
1	インジケータスイッチ
1	ホーンボタン
1	ホーン・デカル
24	ケーブルタイ

手順

1. コントロールパネルをコントロールポッドに固定しているねじ6本を外す。
2. パネルを注意深く車両から持ち上げる。

   注 既存のコネクタ類の接続を破損しないように注意してください。
3. 計器パネルコネクタのリードをコントロールアームに取り付ける。
4. コネクタのリードのついた計器パネルを、コントロールポッドの底部にある開口から上に通すコネクタが3つついている側がコントロールポッドの内側にくるように、大きなコネクタが1個だけの側がコントロールアームへ来るようにする。
5. スイッチのブランクパネルを取り外す図 17。

   注 パネルはキースイッチのすぐ上、コントローラポッドの背面にあります。



g018292

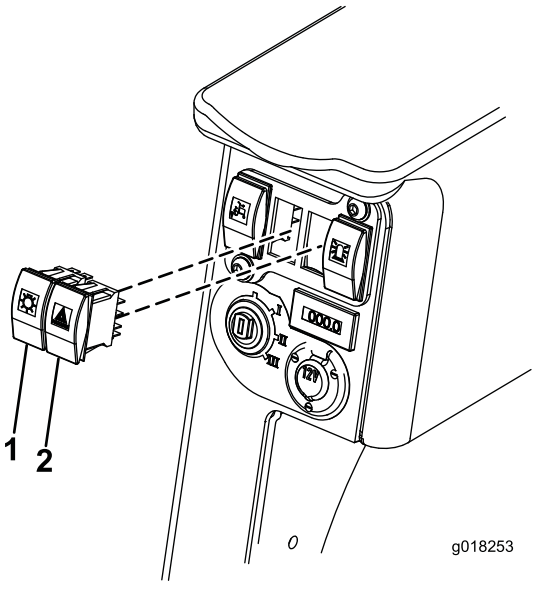
図 17

1. スイッチ用ブランクライトスイッチ用
2. スイッチ用ブランクハザードスイッチ用

6. ハザード用とランプスイッチ用のコネクタを、スイッチ穴に通す。

   注 ハザード用とライト用のコネクタには短いリードがついていますハザード用のコネクタは赤、ライト用のコネクタは黒です。インジケータ用のコネクタは黒で、長いリードが付いている。

7. ライト用スイッチとハザード用スイッチをそれぞれのコネクタに接続し、スイッチを穴にセットする図 18。

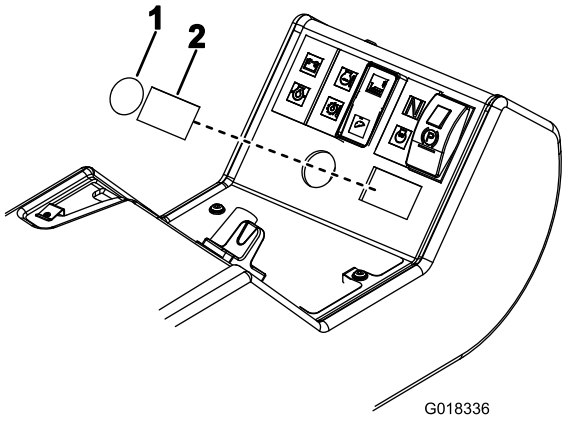


g018253

図 18

1. ライトスイッチ
2. ハザードスイッチ

8. コントロールパネルについている丸いプラグホーンボタンと、その隣にある四角いプラグインジケータスイッチを図 19のように打ち抜く。

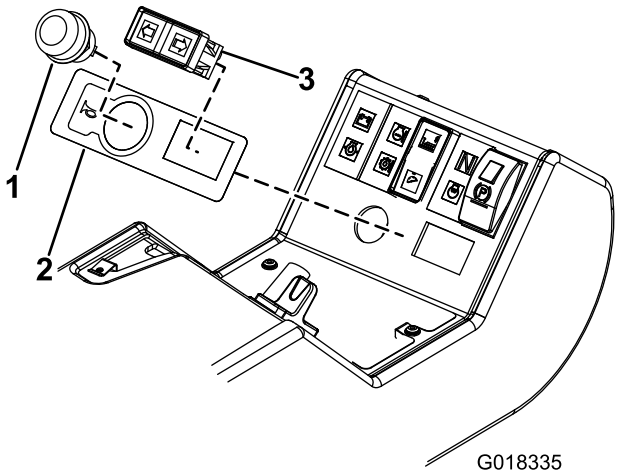


g018336

図 19

1. 丸いプラグホーンボタン用
2. 四角いプラグインジケータスイッチ用

9. ホーン用のデカルを貼り付ける丸い穴のふち部分、四角い穴のふち部分に合わせること図 20。



g018335

図 20

1. ホーンボタン
2. ホーン・デカル
3. 方向指示スイッチ

10. ホーンボタンと方向指示スイッチをコントロールパネルに取り付ける図 20。方向指示スイッチを取り付ける緑/赤線は左に、緑/白線は右に、図 21のように取り付ける。

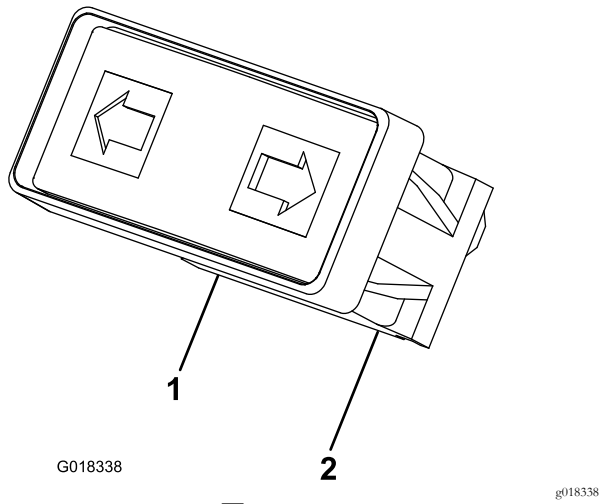


図 21

1. 緑/赤　　2. 緑/白

11. 方向指示スイッチをコネクタリード付き計器パネルに接続する。

    注 インジケータ用のコネクタは黒で、長いリードが付いています。

12. ピンク線と黒/紫線をホーンボタンに接続する。

    注 ピンク線と黒/紫線をコントロールパネルにあります。

13. 運転台の下で、コネクタリード付き計器パネルを、マシンのメインのワイヤハーネスのマルチピンコネクタに接続する。

    注 マルチピンコネクタは、トランスミッションポンプ右側のシャーシに入っています。

14. 前ライト用、後部ライト用、圧力スイッチ用のケーブル類を、ケーブルタイでまとめる。

    重要 ケーブルタイで確実に固定してください。ケーブルが可動部に絡みついたりしないために重要です。

15. バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
16. 各スイッチが正常に機能するかどうかテストする。
17. コントロールパネルを元通りに取り付ける接続が外れているコネクタがないこと、ケーブルが挟まれたりしていないことを確認する。
18. エンジンカバーを降ろしてラッチを掛け、運転台を元にもどす。

7

リフレクタを取り付ける

この作業に必要なパーツ

2	リフレクタ

手順

エンジンカバーの左右にリフレクタを貼り付ける。各リフレクタの外側のフチが、エンジンカバーのフチから10cm中に入っているように貼り付けること 図 22。

注 リフレクタを貼り付ける前に、カバーの表面をきれいに拭いてください。

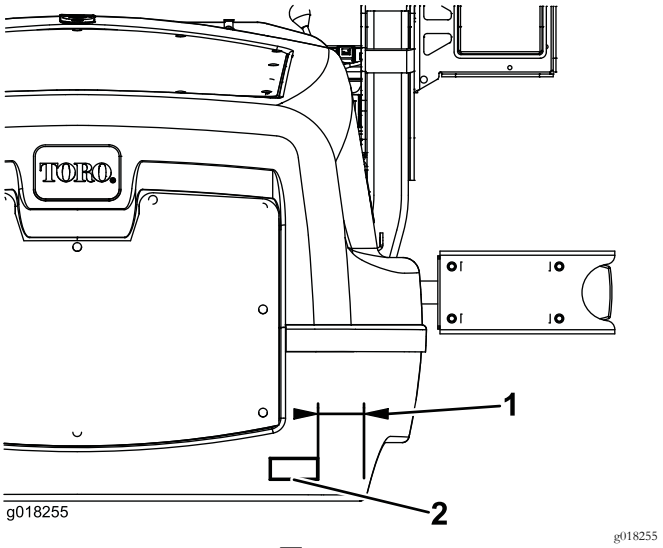


図 22

1. 100mm　　2. リフレクタ

8

シリアルラベルを貼り付ける

この作業に必要なパーツ

1	シリアルラベル

手順

マシンのシリアルラベルの隣にシリアルラベルを貼り付ける。

注 ラベルを貼り付ける前に、カバーの表面をきれいに拭いてください。

運転操作

仕様

電圧 12V

ヘッドライトを調整する

図 23 に示す上ねじで、ヘッドライトの照射方向を法令に合わせて調整してください。

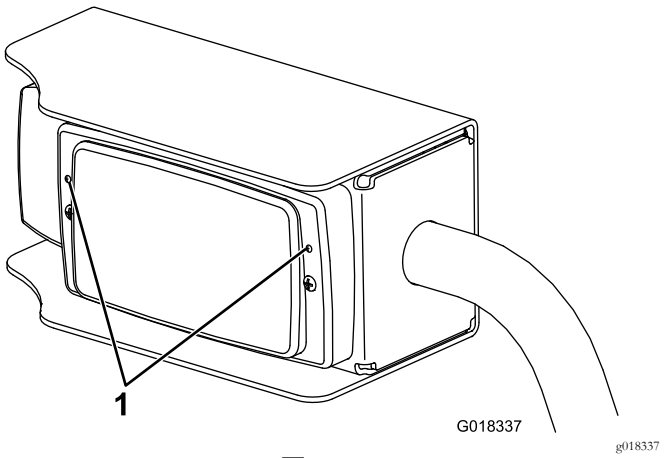


図 23

1. ヘッドライト調整ねじ

ライトを使用する

ランプの種類を表す記号

図 24のように、ランプコントロールには各ランプの種類を表す記号がついています。

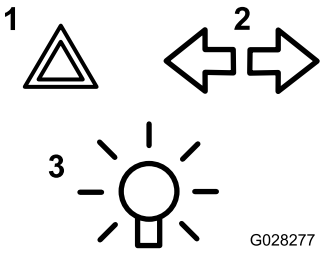


図 24

1. ハザード警告
2. 方向指示器
3. ランプ - ON/OFF

車幅灯前と後

スイッチ上部を押すと、スイッチが明るく点灯し、車幅灯後部は赤色、前部は白色が点灯します。

ヘッドライト

イグニッションスイッチをの位置に回すとヘッドライトが点灯します。

ハザードランプ

ハザードスイッチの上部を押すと、4つの車幅灯が点滅します。イグニッションスイッチがONでなくてもハザードは使用できます。

方向指示器

イグニッションスイッチをの位置にセットし、方向指示スイッチのうち左右どちらかのスイッチを押すと、マシン側面にある方向指示器2個が点滅します。

ブレーキランプ

前進走行中に走行速度を落とすと前進中にコントロールペダルがニュートラルに戻りつつある時にブレーキランプが自動的に点灯します。

保守

保守

重要 磨耗したり破損したりしている部品は純正部品に交換してください。

1. 全部のランプが正常に機能しているかどうか定期的に点検してください。
2. ヘッドライトを適切に調整してください。
3. ライトは毎日きれいに拭いてください。

   重要 溶剤入りのクリーナーは使用しないでください。

電球の交換

1. レンズカバーを取り外す。
2. 電球を交換する。
3. レンズカバーを元通りに取り付ける。
4. ベッドバーの調整を行う; ヘッドライトを調整する (ページ 11)を参照。

メモ

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣誓書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
02917	400000000 以上	公道走行用ライトブレーキランプ付き	KIT - ROAD LIGHTS W/BRAKE LIGHTS GM3400	公道走行用およびブレーキランプ	2004/108/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子的通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み



David Klis
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
December 2, 2016

EU技術連絡先

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5

2260 Oevel
Belgium

Tel. +32 16 386 659

米国外のディストリビューター一覧表

ディストリビュータ輸入販売代理店	国	電話番号	ディストリビュータ輸入販売代理店	国	電話番号
Agrolanc Kft	ハンガリー	36 27 539 640	Maquiver S.A.	コロンビア	57 1 236 4079
Balama Prima Engineering Equip.	香港	852 2155 2163	Maruyama Mfg. Co. Inc.	日本	81 3 3252 2285
B-Ray Corporation	大韓民国	82 32 551 2076	Mountfield a.s.	チェコ共和国	420 255 704 220
Casco Sales Company	プエルトリコ	787 788 8383	Mountfield a.s.	スロバキア	420 255 704 220
Ceres S.A.	コスタリカ	506 239 1138	Munditol S.A.	アルゼンチン	54 11 4 821 9999
CSSC Turf Equipment (pvt) Ltd.	スリランカ	94 11 2746100	Norma Garden	ロシア	7 495 411 61 20
Cyril Johnston & Co.	北アイルランド	44 2890 813 121	Oslinger Turf Equipment SA	エクアドル	593 4 239 6970
Cyril Johnston & Co.	アイルランド共和国	44 2890 813 121	Oy Hako Ground and Garden Ab	フィンランド	358 987 00733
Equiver	メキシコ	52 55 539 95444	Parkland Products Ltd.	ニュージーランド	64 3 34 93760
Femco S.A.	グアテマラ	502 442 3277	Perfetto	ポーランド	48 61 8 208 416
ForGarder OU	エストニア	372 384 6060	Pratoverde SRL.	イタリア	39 049 9128 128
ゴルフ場用品株式会社	日本	81 726 325 861	Prochaska & Cie	オーストリア	43 1 278 5100
Geomechaniki of Athens	ギリシャ	30 10 935 0054	RT Cohen 2004 Ltd.	イスラエル	972 986 17979
Golf international Turizm	トルコ	90 216 336 5993	Riversa	スペイン	34 9 52 83 7500
Guandong Golden Star	中華人民共和国	86 20 876 51338	Lely Turfcare	デンマーク	45 66 109 200
Hako Ground and Garden	スウェーデン	46 35 10 0000	Solvert S.A.S.	フランス	33 1 30 81 77 00
Hako Ground and Garden	ノルウェー	47 22 90 7760	Spyros Stavrinides Limited	キプロス	357 22 434131
Hayter Limited (U.K.)	英国	44 1279 723 444	Surge Systems India Limited	インド	91 1 292299901
Hydroturf Int. Co Dubai	アラブ首長国連合	97 14 347 9479	T-Markt Logistics Ltd.	ハンガリー	36 26 525 500
Hydroturf Egypt LLC	エジプト	202 519 4308	Toro Australia	オーストラリア	61 3 9580 7355
Irrimac	ポルトガル	351 21 238 8260	トロ・ヨーロッパNV	ベルギー	32 14 562 960
Irrigation Products Int'l Pvt Ltd.	インド	0091 44 2449 4387	Valtech	モロッコ	212 5 3766 3636
Jean Heybroek b.v.	オランダ	31 30 639 4611	Victus Emak	ポーランド	48 61 823 8369

欧州におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について
トロ・ワランティー・カンパニートロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるように、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用
トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について
トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます
トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報やその訂正のためのアクセス
登録されているご自分の情報をご覧になりたい場合には、以下にご連絡ください legal@toro.com.

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

Toro 一般業務用機器の品質保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 または 800–952–2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクサセリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。 これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。 *オペレーターズマニュアル* に記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキバッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。 部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。 バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。 このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。 本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。
注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 35 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額逓減方式となります。さらに詳しい情報については、*オペレーターズマニュアル* をご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。